

【実績】 2022年度の基礎技術の性能証明実績

証明実績件数: 33件

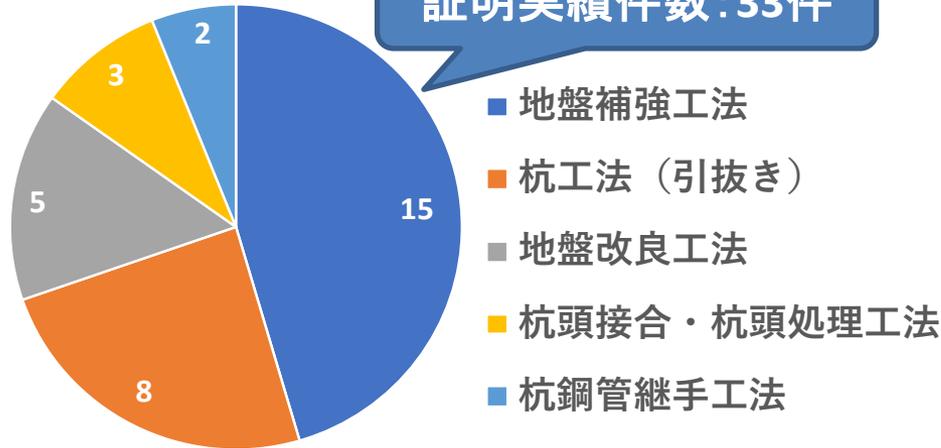


図1 2022年度の証明実績 (新規、改定、軽微改定)

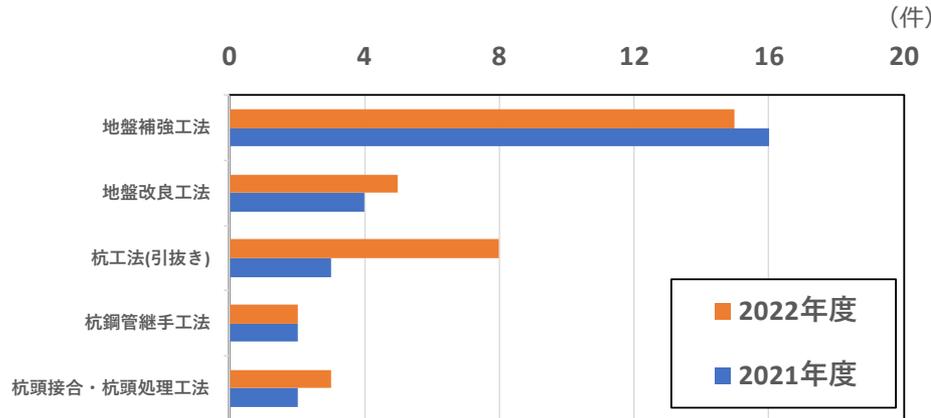


図2 2021年度と2022年度の工法別の比較 (新規、改定、軽微改定)

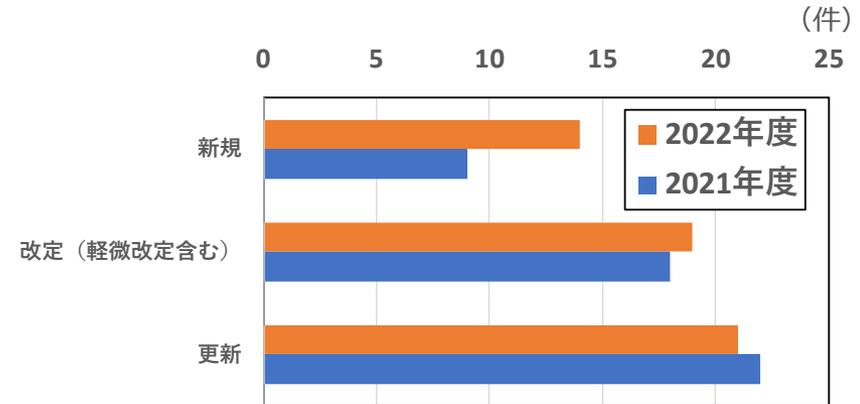


図3 2021年度と2022年度の申込区分別の比較

2022年度の実績 (新規と改定 (軽微改定を含む) の合計) を図1に、2021年度と2022年度の実績について工法別と申込区分別で比較したものをそれぞれ図2と図3に示します。

図2,3を見ると2022年度の各工法の実績は新規、改定ともに2021年度より多く、また更新もほぼ同数となっており、2021年度よりさらに多くご利用いただきました。

今年度も更にご満足いただけるようサービス向上に励んで参りますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【技術コラム】地盤改良工法における対象土層について

①地盤改良工法について

地盤改良工法は、工法により攪拌方向(水平、鉛直)が異なります。

柱状改良：対象層でセメントスラリーと土を混合攪拌しながら円柱状に改良をします。

図4に示す通り、攪拌翼で水平方向に攪拌を行います。

ブロック改良：セメントスラリーと土を混合攪拌しながらブロック状に改良をします。

水平方向に加え、鉛直方向にも攪拌を行います。

※ブロック改良は、一度土を掘り出し地上で混合攪拌する場合があります。

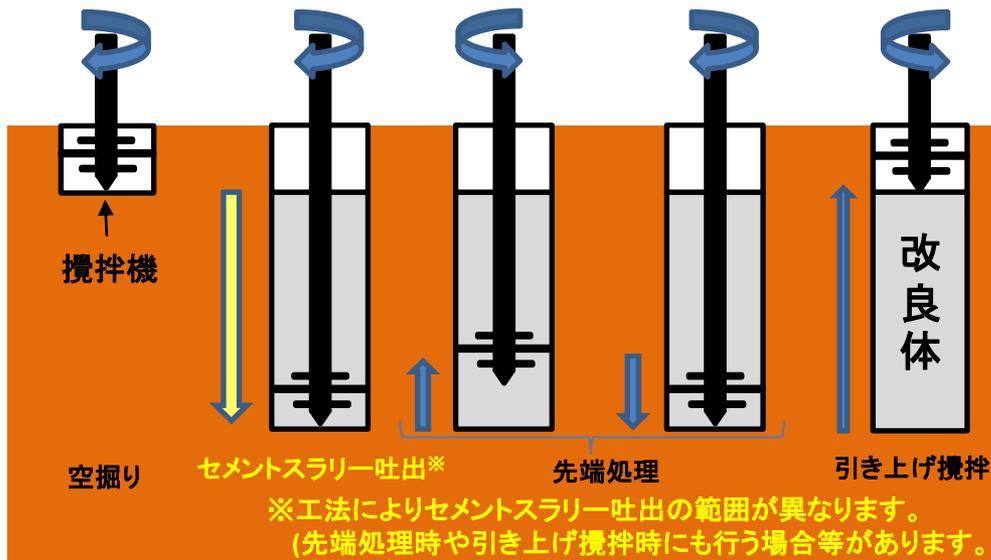


図4 柱状改良

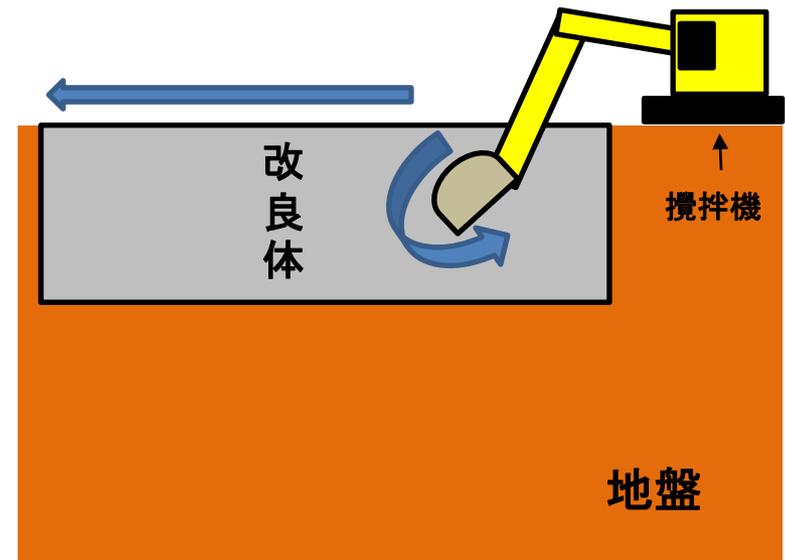


図5 ブロック改良

【技術コラム】地盤改良工法における対象土層について

②水平攪拌が主体の場合(柱状改良)

攪拌方向が水平方向を主体とする場合は、単一層を対象土層として扱うことが原則です。(土質区分は対象土層の柱状図により判断)

そのため、改良範囲の地盤が互層である場合はこれらをまとめて単一の対象土質として扱うことはできません。

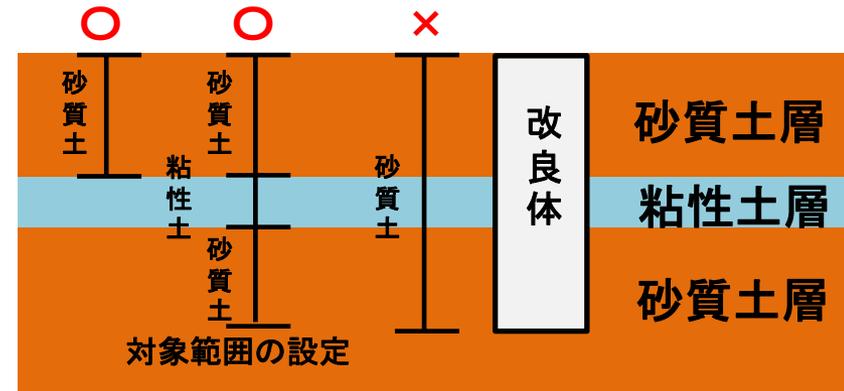


図6 対象地盤が互層の場合 (柱状改良)

③鉛直攪拌を含む場合(ブロック改良)

改良対象地盤が互層である場合は、改良範囲における層厚が過半 (>50%) を占める土層の土質を対象土質とみなします。

例：層厚の割合が粘性土で40%，砂質土で60%の場合は、対象土質を砂質土とみなします。

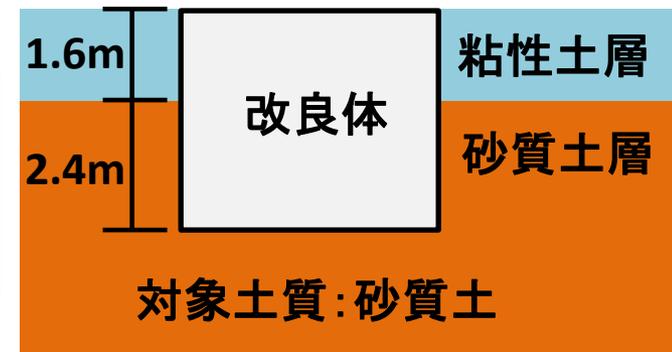


図7 対象地盤が互層の場合 (ブロック改良)

※②および③いずれの場合も、コア供試体が25本以上採取できるよう、十分な層厚の土層を選定することや、複数のボーリングコアを採取することなどがが必要です。

【技術コラム】地盤改良工法における性能証明取得時の必要な現場数（対象土質）について

①地盤改良工法における必要試験現場数について

性能証明取得にあたり現場施工試験を行う必要があります。
地盤改良工法では、対象土質毎に **5現場以上**の試験施工を行いデータを取得してください。

②対象土質をまとめる場合について

性能証明取得にあたり対象土質を下記のように申請する事も可能です。

- ・砂質土（礫質土含む）
- ・粘性土（ローム含む）

この場合の必要現場数は**主体となる土質で3現場以上、かつ（）内の土質で3現場以上、合計6現場以上**となります。

※性能証明の改定時に（）書きの土質を独立させたい場合は、追加の現場試験を行って、それぞれ **5現場以上**とする必要となります。

【技術コラム】試験現場の地域について

性能証明取得のための試験現場数については、全国を施工対象とする工法では**最低3地方**での現場試験をお願いしております。これを満足しない場合、工法の**適用地域を限定した性能証明**となります。基本的な地域区分としては「北海道」「東北」「関東」「北陸」「甲越信」「東海」「近畿」「中国」「四国」「九州」「沖縄」となります。(別紙①参照)
 地域区分が不明瞭な場合は別途ご相談ください。

良い例 ○

悪い例 ○

※悪い理由

現場が3地方未満であるため



【お知らせ】2023年度の委員会開催について

委員会開催については例年通り毎月第3火曜日の開催となります。ただし、以下の月に関しては祝日等の影響により開催日が異なりますのでお知らせします。詳細は別紙②委員会開催予定カレンダー（性能証明）をご確認ください。

5月23日（火）：第4火曜日の開催

8月22日（火）：第4火曜日の開催

1月23日（火）：第4火曜日の開催

今年度より、基礎技術性能認証委員会の事務局担当となりました蜂須です。これまで約12年間、試験研究センターの構造部 土質基礎試験室に在籍しており土質試験業務等に携わっておりました。これから、担当者として皆様にお力添えをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。（編集後記：蜂須）

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
 建築確認評定センター 性能評定課
 担当：岩佐、蜂須
 TEL：06(6966)7600 FAX：06(6966)7680
 E-mail：seinou@gbrc.or.jp

別紙①：地域区分について

2023.5 現在

1.北海道(1)

北海道

2.東北(6)

青森県,秋田県,岩手県,宮城県,山形県,福島県

3.関東(7)

茨城県,埼玉県,千葉県,東京都,神奈川県,栃木県,群馬県

4.北陸(3)

富山県,石川県,福井県

5.甲信越(3)

長野県,山梨県,新潟県

6.東海(4)

愛知県,静岡県,三重県,岐阜県

7.近畿(6)

大阪府,京都府,兵庫県,奈良県,和歌山県,滋賀県

8.中国(5)

島根県,鳥取県,山口県,広島県,岡山県

9.四国(4)

徳島県,香川県,愛媛県,高知県

10.九州(7)

福岡県,佐賀県,長崎県,熊本県,大分県,宮崎県,鹿児島県

11.沖縄(1)

沖縄県

2023年
4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

第2火曜日です。

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

第4火曜日です。

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

7/11～13: 地盤工学研究発表会

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

第4火曜日です。

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

9/12～15: 日本建築学会大会

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

10/18～21: 第8回: SEWC2023(ほぼ4年ごと)

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

11/23～25: 第16回日本地震工学シンポジウム(おおむね4年に一度)

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

12/中旬(2022年は12/15・16): 地震工学会・大会

2024年
1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

第2火曜日です。

第4火曜日です。

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

2/25～26: 大学入試

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

RC・鉄骨・その他委員会開催日
基礎委員会開催日

原則: 第1火曜日
原則: 第3火曜日

その他(学会など)
赤字: 日曜日及び祝日